

## 赤須賀漁港の不思議な道具達その1

赤須賀の港には漁から帰ってきた漁師さんが使う様々な道具が並んでいます。

上の写真は「振りカゴ」とも呼ばれ、均等な間隔で組まれた針金に四角く木で枠組みされた道具です。

使い方は獲ってきた貝の選別の際に殻を振り落としたり、水槽の水につけて弱っている貝の選別に使用します。

使用の際は貝の大きさによって異なる間隔の振りカゴを使い分けます。

この「振りカゴ」はそれぞれの漁師さんの手作りで、自分の手に馴染むように工夫されてつくられています。

実際の選別作業では常に間隔の異なる「振りカゴ」を4～5種類使用しています。

漁から戻ってきてからセリが始まるまでの間、この「振りカゴ」を漁師さんは数百回振り続けます。

